

石野教室だより 10月 4教室合同版(学習塾・そろばん・書道・英会話)

連絡先 281-6780 (教室) ホームページ <https://www.ishinok.com>



学習塾小学部からのお知らせ

急に涼しくなり体調を崩さないよう気をつけてくださいね。修学旅行や野外活動、運動会とさまざまな行事があるようです。少しずつ日常が戻りつつあります。嬉しいことです。慌ただしい時期ですが、学習のほうも大事な内容に入ってきます。気を引き締めて頑張っていきましょう。

失敗する機会を子供から奪ってはいけない

子どもの頃に小さな失敗を経験させてあげたほうがいい、とはよく聞く話だと思います。

でも、ほとんどの親は、子どもが失敗を避けられるように手伝ってしまいます。

「水たまりがあるからよけなさい」も、よく言ってしまう言葉ではないでしょうか。

もちろん本当に危険なことは、先回りして教える必要があります。

しかし、なんでもかんでも先回りして、失敗する機会を奪うのは別の話。

子どもにとってまったくいいことではありません。

「水たまりがあるからよけなさい」もよくない例です。

水たまりに入って靴や洋服がビショビショになったら、着替えればいいだけです。

「スニーカーで水たまりに入ると、あっというまに水がしみ込んで気持ち悪くなるんだな」とか「足が冷えるとかしゃみが出てくるんだな」などと本人もわかります。

ちょっとやんちゃな子、よくない ^{うわさ}噂がある子などについて「あの子と遊ぶのはやめなさい」と言うのもそうです。

自分の子どもが傷ついてほしくないから、心配だから言うのでしょうが、付き合う前に言うのはよくありません。

多少のトラブルがあっても、それを学びに変えていけばいいのです。

失敗こそ、学びのチャンスです。

そうやって付き合う人を親が選ぶようなことをしていたら、結婚相手も自分で決められなくなります。

その子の人生ですから。人付き合いを自分で決められないなんて、幸せと言えるでしょうか。

失敗こそ、学びのチャンスです。そして、失敗を乗り越えるほどに、失敗に対する耐性も身につきます。

子どもの頃にたくさんの失敗をさせてあげたほうがいいのです。

母親は何でも失敗をさせてくれる人でした

株式会社ユーグレナ代表取締役社長の ^{いづも みつる} 出雲 充 さんは、日本を代表する素晴らしい起業家の1人です。

その出雲さんにこんな質問をしました。

「出雲さんが子どもの頃、お母さんはどういう子育てをされていましたか？」

出雲さんが答えてくれたのは、「母はなんでも失敗させてくれる人でした」ということでした。

なんでもやりたいようにやらせてくれ、見守ってくれたそうです。

たとえば外でおにぎりを食べていて、地面に落としてしまったとき。

泥だらけのおにぎりを拾ってそのまま食べようとしたら、ほとんどの人は「汚いからやめなさい」と止めるでしょう。

でも、出雲さんのお母さんは止めません。

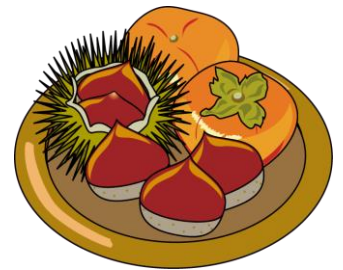
やりたいようにやらせておきます。

泥だらけのおにぎりを口に入れたら、まずいから出します。

子ども自身が食べるのをやめるはず。

だから止めなくてもいいという考えだったのです。

こういった環境だったから、失敗を恐れず挑戦し続けるベンチャー魂が育まれたのですね。見守るのはなかなか忍耐のいることです。



幼いころの失敗が大人になって生きてくる

大学を卒業したら急に「もう大人なんだから独り立ちしなさい」と言われても、それは無理というものでしょう。

子どもの頃にたくさん失敗をして、そこから学ぶことが大切です。

子どものうちに小さな失敗をたくさん経験しておくほど、大人になってそれが生きてくる。

「うわー、水たまりじゃなくて海じゃん」って思っても、失敗を回避したりリカバリーしたりする能力が上がっているからチャレンジできます。

たとえ大きな失敗をしても、メンタル的な耐性も上がっているから立ち直りも早いのです。

こういった、失敗を恐れずチャレンジできる力こそ、親が子どもにつけてあげたいと思うものではないでしょうか。それなのに、失敗のチャンスを奪ってばかりいるのが、現代の親です。

ビリギャルを東大に入れた坪田塾塾長から引用

お知らせ

9月から3月までの教材費を集めさせていただきますのでよろしくお願いします。学習する科目や受験するかしないかによって金額はそれぞれ違いますので、金額はお月謝袋をご覧ください。



私学フェスタ広島

中学受験が考えている方や公立中学に通っている方に学校を知るチャンス！

私立学校は、公立とは違った独自の教育をしています。

いろいろな学校がわかりますよ。ぜひ足を運んで自分に合った学校を見つけてみませんか？

<http://hiroshima-shigaku.school-info.jp/hiroshima.html>

そろばん教室からのお知らせ

石野教室では、そろばん、暗算の検定試験を7級くらいから受けることを声かけています。

無理して受ける必要はありませんが、4級からは必ず受けてもらっています。

受験料がかかりますので下級ではご案内をしておりますが、受けたい子供さんは申し出てください。そろばんは15級から、暗算は10級から受けることができます。

受けることで合格すると賞状がもらえたり、合格シールがもらえたりします。

受けることで、子供たちは試験目指して頑張ります。ぜひ褒める機会にしてあげてください。

次回検定は11月です。奇数月です。

最近、金曜日が比較的空いていますよ。参考まで。



書道教室からのお知らせ 10/10 お休み

とにかく8・9月と忙しかったですね。

夏休みの学校の宿題から始まり、検定試験・昇段試験・広島書道展と作品づくりで大変でした。

広島書道展は10月末まで続きますが10月31日月曜日が会議になれば回数としては3回かも??

会議でなければ4回できラッキーですね。

まだ会議の日が決まっていませんので決まり次第書道教室のラインにてお知らせします。

広島書道展参加の生徒は先生がOK出すまでは毛筆を持って来てくださいね。 段が高い生徒はレベルも上がっています。毛筆を是非5段まで修得して書道名（雅号）をいただいでください。今回それをかけて高3の女の子が挑戦しています。

今後の励みと自信に繋がります。そして内申に書く事ができます。すごいですよね。



外国人講師の英会話教室からのお知らせ

10月11月は運動会・発表会など学校の行事があり

土曜日英会話と重なっている生徒もおられると思います。

その場合は次の週でも都合の良い日に振替をしてください。

自分のクラスと次のクラスへ参加ください。

ハロウィンは10月29日に行います。

人数の少ないクラスもあるので2クラス合同で

するかもしれません。また連絡を英会話のラインにてお知らせします。

今年もドナルド先生が楽しいゲームを考えているようですよ。



 ハロウィンってなあに??

ハロウィンは、前の年に死んだ人の霊が冬になって、寂しくなりもどってくるというケルト人の信仰に由来する西洋のお祭りです。

子どもたちは悪霊を追い出すためにお面をかぶったり、気味の悪い仮装をし「Trick or Treat」（お菓子をくれなきゃいたずらするぞ）と言って近所をまわります。